

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 522

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
あさやけ喜平橋食堂	小平市上水南町 2-23-21-5	TEL 042-312-0793
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



焼き菓子づくり



あさやけ作業所



野神 友花さん
(あさやけ作業所)

私、頑張っています

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



今回の仲間紹介は、あさやけ作業所うぐいす班に所属する、笑顔がとってもキュートな野神友花さんです。年上のなかまからは「ゆうちゃん」「のんちゃん」と呼ばれています。

入所当初から、カトラリーの(袋入れ・ラベル貼り等)の作業を中心に行っていました。次第に「五セットやったら終わり」というスタイルが定着し、作業能力の高い友花さんは時間を持て余すような様子が見え始めるようになりました。そこで、今年度四月に作業を見直し、他の利用者の方たちと同じように、あさやけだよりの仕事をやってみようと挑戦することになりました。

あさやけだよりの仕事には、表紙と中身の紙を合わせる「丁合」、各部材を五枚ずつにする「数え」(課題になると)丁合されたものを表紙と中身に分ける「バラシ」と複数の作業があります。

さて、いざ仕事を提示すると

これからのセンターがめざすもの

地域生活支援センターあさやけ
所長 川村 武士

一九九八年十月一日にあさやけ第二作業所の二階で開所した地域生活支援センターあさやけ(以下、センター)は、利用者、家族、地域の関係機関の皆様にご支援をいただき、今年度の十月で二十五周年を迎えました。

センターは利用者を中心とした生活全般の相談(病氣・対人・生活・制度・金銭・通所先等)を行う「相談支援事業」や、交流室やプログラムを通じての居場所づくりとなる「地域活動支援センター事業」などの業務を中心に担い、精神障害のある方の気軽な相談と居場所。を目指して長年運営してまいりました。

自立支援法施行以降様々な事業を担い、時代と共にその役割が変化していることを感じます。特に、相談支援専門員が福祉サービスを利用する方に対して、相談やアセスメントをする業務「指定特定相談支援事業」を本格的に担うようになりました。他にも受託している事業としては、市内在住の障害を持つ方が民間賃貸住宅を探す際のアドバイスを行う「小平市居住支援事業」、主に精神科病院の退院から再入院を防ぐ関わりである「地域移行支援・地域定着支援」などがあります。

また、主任相談支援専門員が市内の指定特定相談支援事業の実習のスーパーバイズを行うと共に専門性の向上をはかることや、地域自立支援協議会の委員として、市内の障害福祉に関することや地域課題などの共有、協議を行っています。

これからのセンターは、障害のある方のさまざまなニーズや生活課題に柔軟に対応していくことを目指したいと思っています。

ここにもつながりのない方の利用が多く、その中には親亡き後に生活が困りそうな方々も見られているという現状があります。

また、小平市では令和三年十月から、障害者の重度化や高齢化や親亡き後を見据え、緊急時の相談や、体験機会の場の整備や地域の体制づくりなどに取り組む「地域生活支援拠点等事業」や今後開設を検討中の障害者の中核的な相談を担う、「基幹相談支援センター」との連携も必要となると感じます。新たな障害福祉制度に対応していくことも必要と考えます。

地域生活支援センターあさやけ～25周年を迎えました～

11月23日に25周年記念会を開催しました。約70名の方が集まり、手形の合同製作、スライドショー、アタック25を楽しみました。最後は、書道の先生によるアルパ演奏で会を閉めました。



開設25周年を迎えて

地域で生活している方や入院をしていて退院して地域生活を目指す方等の生活支援を中心に活動をしてきました。これまで利用された方から、「多くの仲間と交流が出来た。」「相談をして気持ちが楽になった。」「地域生活をしていくのに必要なところだと思えた。」等々、そんな声を聞いて、これまで続けられてきました。

11月23日の記念会に集まってくれた、大勢の利用者の表情を見て、センターがあって良かったなあと感じたこと、まだ、ここを利用されていない方々に、利用の機会をどうしたら持ってもらえるのかと思いました。これからも皆さんと一緒に支援センターを盛り上げていってほしいと願っています。

伊藤 善尚



～地域生活支援センターあさやけ25年のあしあと～

- | | | | |
|----------|--|----------|----------------------------------|
| 1998年10月 | あさやけ第二作業所（小川町2丁目）の2階に開設 | 2009年3月 | 「交流室で守る10か条」を策定 |
| 1999年1月 | ボランティアの協力により初の新年会開催
機関紙 通信「風」発行 | 6月 | センターあさやけ開設以来毎週開催してきた夕食会を終了 |
| 2001年3月 | 初めての一泊旅行（青梅） | 2011年3月 | 「これで安心 一人暮らしのコツ」発刊 |
| 2002年4月 | 小平市より精神障害者の一般相談を委託 | 2012年7月 | 指定特定相談支援事業受託（サービス等利用計画） |
| 5月 | 3周年記念誌「風のささやき」発刊 | 2013年1月 | サービス等利用計画本格的に計画作り始まる |
| 11月 | 支援センター主催 市民講演会「心の病って何」開催 | 4月 | 指定一般相談支援事業受託（地域移行支援、地域定着支援） |
| 2003年5月 | 開設当初からの非常勤当事者職員の井関保雄さん死去 | 10月 | 15周年記念茶話会開催 |
| 2004年1月 | 小平元気村おがわ東（小川東町4丁目）へ移転 | 2014年1月 | ピアカウンセリング講座にメンバーと職員が参加 |
| 2005年7月 | 萩山夏祭りに初出店 | 5月 | アメリカアルバーノ大学生来訪交流会開催 |
| 2006年1月 | 支援センターあさやけ内に精神保健福祉情報コーナー開設 | 2017年5月 | ピアサポートなかま会を定期プログラムに |
| 10月 | 障害者自立支援法へ移行（相談支援事業・地域活動支援センター事業を小平市より受託） | 2018年11月 | 地域生活支援センターあさやけ20周年記念会開催 |
| 2007年10月 | 厚生労働大臣精神保健福祉功労賞受賞（伊藤） | 2019年9月 | 小平けやき会（家族会）主催 市民講演会にあさやけより派遣 |
| 2008年7月 | 10周年記念企画 精神保健福祉市民講演会「ようこそ！！精神科へ」開催（元気村） | 2020年3月 | 数カ月間の交流室臨時閉鎖 |
| 9月 | 10周年記念イベント開催（元気村）10周年記念誌発刊 | 年末 | これまで継続してきた年末年始（大晦日、元旦）のセンター開所を中止 |
| | | 2021年10月 | 小平市地域生活支援拠点事業 登録事業所となる |
| | | 2022年4月 | 登録料の無償化 |
| | | 11月 | 25周年記念会開催（元気村）25周年記念冊子発刊 |

新鮮野菜から手作り品が並んだ冬のミニショップ開催 あさやけ風の作業所

開催当日の明け方までは雨が降っていましたが、朝には雨も上がり天気にもぐまれたミニショップ。きっとみんなの楽しみにしている気持ちが届いたんだと思いました。

風の作業所の他にも各事業所が参加して本当に様々な製品が販売されました。ミニショップに来て下さった方の中には毎年楽しみにしていると思いを伝えてくださる方や、開催を知りタクシーで来て下さる方もいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございます。

また、利用されている方たちも店番をしたり、買い物を楽しんだり、ゲストをお呼びして行ったギター演奏を聴いたり、フラダンスを観賞したり、一緒に踊ったりと充実した一日になったと思います。

地域のみなさんと、一緒に楽しむミニショップ。この伝統を今後も大切にしていきたいと心から感じました。



みんなでたこ焼きパーティー ～ホームの暮らし～ 共同ホームさらさ

コロナウイルスが落ち着いて、祝日ひさしぶりにホームでタコ焼きパーティーをすることができました。コロナが落ち着いて暫く経ちましたがスタッフ体制がなかなかとれなかったこともあり今に至りました。6人の利用者さん全員が揃って楽しめる数少ないイベントの一つです。コロナ禍での祝日の過ごし方はカラオケやゲーム、動画を観るといったくらいしかできませんでした。そういうのだと参加しない方もいて自室でテレビを観たりひたすら寝ている方もいました。もちろんそういう時間も大事ですが自室で過ごしていた方にはそれらの余暇活動は魅力的ではないから仕方なく自室で過ごしていたことと思います。その方もひさしぶりのせいで最初は顔が少しこわばっていましたが徐々に思い出したかのように暫くすると笑顔で上手にタコ焼きをくるくるとひっくり返していました。他の方たちもニコニコでたくさん食べていたのを見ると再開できて本当に良かったです。やっぱりイベントって大事だなと改めて思いました。

最近作業所と同じように課題に取り組んでいる方がいます。課題を始めてからホームでのお手伝い(洗濯物干し、たたみ等)もお願いしていますがこの前職員が洗濯物を干していると自分から『手伝うよ』という感じで近寄ってくれました。洗濯物たたみは他の方たちもやってくれます。またある方は終わった洗濯物を乾燥機に入れる分と干す分を分けてくれていました。本当によく見ているんだなと感心させられました。そういう日々の限られた時間の中で新たな発見があるのは嬉しいかぎりです。



送迎ドライバー（パート）

大募集



○小平市内、近隣（東村山など）

朝夕片道 1 時間半程度

○週 2～3 日

応募資格 要普通自動車免許

業務内容 障害のある方の通所のための自動車による送り迎え

勤務地 社会福祉法人ときわ会 あさやけ作業所

時間 朝 8 : 30～10 : 00 夕 15 : 30～17 : 00

給与 時給 1200 円

応募先

TEL : 042-345-4575

受付時間 : 10:00～17:00

社会福祉法人ときわ会 あさやけ作業所
担当 中川

小平市小川町 2-1159

今年も毎月の廃品回収にご協力ありがとうございました！

～年間の回収量は 74 トン（2022 年 12 月～2023 年 11 月）でした～

2023 年資源回収回収量

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	合計
新聞紙	5,220	5,110	4,510	雨天 中止	2,100	8,458	4,460	4,070	6,770	4,460	3,890	49,048
雑誌	1,690	2,080	1,740		870	2,840	1,360	1,360	2,390	1,970	1,670	17,970
段ボール	940	990	660		290	930	520	500	930	550	480	6,790
ウエス	78	70	44		10	181	60	40	10	50	140	683
合計	7,928	8,250	6,954	0	3,270	12,409	6,400	5,970	10,100	7,030	6,180	74,491

※年間回収量は2022年の86トンから12トン減って74トンでした。

廃品回収のお知らせ

11月の廃品回収の回収量は 6,180 kg でした。内訳は新聞 3,890 kg、雑誌・ダンボール 2,290 kg です。収益は小平市の資源回収補助金も含めて 83,370 円でした。

次回は 1 月 20 日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。

■回収品は玄関前にお出しください。回収時間は午前 9 時から 12 時 30 分の予定です。